

SOLAN Dream Climbers

～夢に向かって一歩ずつ～

2年ぶりの『ごんぎつね』との出会い

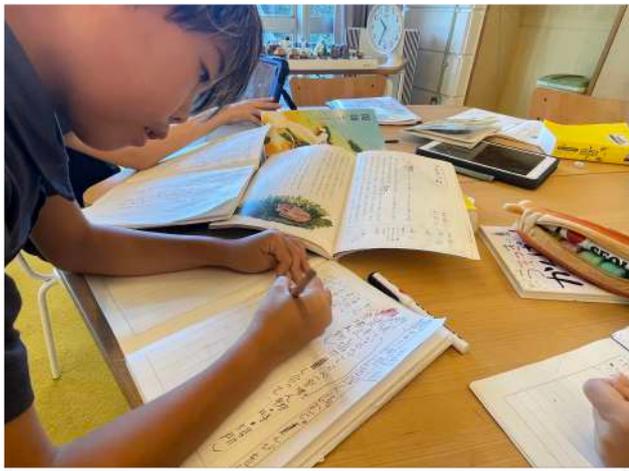


みなさんは、一度読んだ作品を何度も読み返すことで、感じ方が変わったり、新しい視点でその作品を楽しめた経験はありませんか。同じ物語でも、年齢や経験を重ねることで、心に響く部分や物語の深さが変わってくる場合があります。子どもたちには、そんな体験を物語の作品を通してしてほしいと願っています。

今回の国語の授業で学ぶ『ごんぎつね』も、そうした名作の一つです。この学年の子どもたちは、2年生の時に一度この物語をプロジェクトで読んだ経験があるため、「またやるの？」や「もう話は知ってるよ」といった声があがりました。



中には、「サイン入りの絵本をたくさん読んでるよ」という子もいました。



しかし、いざ第一回の授業が始まると、子どもたちはジオラマを使って、以前作ったときの思い出を語り合い、2年生以降に仲間になった友達に登場人物を説明したりするなど、盛り上がっていました。

4年生では、『ごんぎつね』の学習を通じて「作者になりきって、新しい場면을創作すること」に挑戦します。どんな物語が生まれるのか、今からとても楽しみです！

